

モノ黒ームー多彩な黒

会 期 2016年11月16日(水)～2017年1月15日(日)

黒は、数ある色のなかでも不思議な存在です。そのまま黒い色を表わすこともあります、光の届かない闇や暗さ、つまり色さえも見えない状態を表わすこともあります、さらには線描のように存在を際立たせることもあります。

日本画で用いる代表的な黒色は墨ですが、岩絵具にも黒色はあります。そして、墨も岩絵具の黒も、黒色は一様ではありません。青っぽい黒、茶色っぽい黒、漆黒のような黒、そしてキラキラ光る黒。黒は、とても表情が豊かな色なのです。

それだけではありません。絵画では、その濃淡によって明暗を表わし黒の階調による作品世界を作り上げ、線描にすると立体をかたどる輪郭となり、対象の周囲をぼかして隈取ることで存在を浮き立たせ、明暗、影をも表わすなど、実に多彩な姿を見せます。そして、書になると筆記の軌跡となり、そこに筆の上下左右の動きさえも閉じ込めます。色ばかりか、明暗、深淺なども表わすことのできる黒は、色彩の再現とは異なる次元で表現を可能にする不思議な色なのです。

本展覧会では、絵画、書の黒に焦点をあて、その多彩な表現をご紹介します。

会 場 高崎市タワー美術館（〒370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773）

開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

金曜日のみ 午前10時～午後8時（入館は午後7時30分まで）

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、祝日の翌日、年末年始

会期中の休館日：11/21・24・28、12/5・12・19・26、12/28～1/4、1/10

観覧料 一般：200円（160円）、大高生：160円（100円）

- （ ）内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

関連事業

- 学芸員による作品解説会 11/19、12/4、12/17、1/14 14:00～